

令和2年5月26日

富山市議会議長

舎川 智也 様

富山市議会日本共産党
赤星ゆかり
小西 直樹

6月定例会の新型コロナウイルス対策についての申し入れ

議長におかれましては、日頃から市議会を代表してのご活動、お疲れ様でございます。

さて、5月7日の各派代表者会議及び5月11日の議会運営委員会において6月定例会の日程及び運営について決定されているところですが、新型コロナウイルス感染症問題については、5月25日、政府が緊急事態宣言を全面的に解除し、また県は5月29日には県民への外出自粛や休業要請についても全面解除の方針を示され、議運決定時には情勢が変化してまいりました。今後の感染症拡大の動向を注視しつつ、議会としてのチェック機能を十分に果たせる議会運営に、柔軟に見直しが必要と考えます。

新型コロナウイルスに関連してこれまでに国民が受けた様々な影響は計り知れず、富山市民の暮らしや生業にも多大なる影響を及ぼしています。多くの事業者は売り上げ、収入が激減し、倒産、派遣切りや解雇に会う人、職を失った人など、生計の維持に切迫した状態にあります。長期の学校休業による子どもたちや家族への影響。アルバイトできず生活費や学費が払えない若者、大学生。医療と介護の現場での患者、利用者、従事

者、経営に関わる問題などなど、今こそ議会が市民の声を届け、提案し、活発に議論することが求められています。

そこで、先に決定された6月定例会の日程及び運営を、引き続き感染症拡大防止策を講じつつ開会日直近の情勢に合わせて見直しされますよう、以下のことを申し入れます。

記

- 1、6月定例会の、一般質問の会派ごとの持ち時間制限を見直し、希望する議員が一般質問できるようにすること。
- 2、4常任委員会での議案・報告事項以外の「その他」の質問を認めること。
- 3、上記の議会活動が十分に行えるよう、会期を見直すこと。

以上